

タンネウシ 2月号



「海」がテーマの講演会第2弾！

13年度の博物館メインテーマ「知床の海と漁業」を締めくくる連続講演会です。特別展「知床の漁業」を中心に、船からのクジラ観察や番屋の見学、サケの採卵実習、「イカ」に関する講演会、オホーツク・タワーへのバスハイクなどを開催してきました。2～3月は下記の連続講演会を開催いたします。多数の皆様の参加をお待ちしています。

第1回 2月23日(土)

「海鳥からみる海洋環境の保護」

講師 小城春雄氏(おぎ・はるお)
北海道大学大学院水産科学研究科教授

1回目の講師は北洋の海鳥研究で知られる小城春雄さんです。小城先生は海鳥研究者の視点から海洋のプラスチック汚染や北洋漁場での混獲の問題にも取り組まれています。普段私たちが知ることのできない海洋環境の現状についてお話いただきます。

会場：ゆめホール知床 公民館ホール

時間：午後7時～9時

第2回 3月2日(土)

「オホーツク・タワーから見た流水の世界 ～ビデオで語る海と魚の生態～」

講師 濱岡荘司氏(はまおか・そうじ)
オホーツク流水科学研究所海洋開発部長

「大栄小学校版画展」開催中！



記念館ロビーに大栄小学校の皆さんの版画を展示しています。ボール遊びの様子や、色とりどりの「落ち葉」、そして5、6年生は「北海道の民具」と力作ぞろい。是非、見に来て下さい。ロビーのみの利用は、無料です。

12/28、開館記念もちつき大会と、竪穴住居見学

が行われました。この日は、だいぶ冷え込みましたが、大勢の子どもたちが代わる代わるもちをつきいていきました。もちろんつきあがったお餅はその場で試食。やっぱり、おもちはつきたてが最高ですね。



そして、完成したばかりの竪穴住居は、中で火がたかれ縄文人の気分を満喫していただきました。

写真右は、竪穴住居内の様子です。

